

イノシシ等の被害対策にご協力を ～有害鳥獣捕獲活動にご協力いただける方を募集します～

村内において、イノシシ等の鳥獣による被害が年々増加しております。
村では、その対策としてわな免許・銃免許を取得して捕獲活動にご協力いただける方を募集しています。
なお、ご協力をいただける方には下記のとおり狩猟免許等の取得・更新費用の全額を補助しています。
イノシシ等の被害対策に皆さんのご協力をお願いします。

- ◆募集人数 6名(定員になり次第締切)
- ◆対象者 村に住民登録があり、過去に狩猟免許の取消を受けたことが無い方
農作物被害防除のため地域の有害鳥獣捕獲活動に従事する意思のある方
- ◆対象免許 ①わな猟免許 ②第一種銃猟免許 ③銃砲所持許可
- ◆補助額



内 容		補助額
新規取得者	狩 猟 免 許 取 得	初心者講習会 (宮城県猟友会主催に限る)
		狩猟免許試験申請手数料
	医師の診断書	
鉄砲所持許可取得	初心者講習会	取得・更新費用の全額 (ただし100円未満の 端数が生じた場合切り 捨てた額とする。)
	教習資格認定申請手数料	
狩 猟 免 許 更 新	狩猟免許更新手数料	
	経験者講習会 (宮城県猟友会主催に限る)	
更 新	鉄 砲 所 持 許 可 更 新	

◆申請・問い合わせ先 産業振興課 ☎341-8514

農業委員・農地利用最適化推進委員 募集結果について

農業委員及び農地利用最適化推進委員の募集結果は下記のとおりとなりました。
なお、任期は6月議会で同意を受けた後の令和2年7月20日からとなります。

◆農業委員

番号	氏名	職業	備考
1	菱沼 達也	農業	農業者による推薦
2	関内 秀樹	農業	//
3	遠藤あけみ	農業	//
4	八鍬 光	農業	//
5	小川 豪	農業	//
6	浅野 一郎	農業	//
7	伊藤 正夫	農業	//
8	竹下 隆悦	農業	//
9	千葉 悦子	農業	//
10	跡部 勉	農業	//
11	遠藤 政彦	農業	法人・団体による推薦
12	西條とも子	主婦	個人による応募

(届出順)

◆農地利用最適化推進委員

番号	氏名	職業	備考
1	窪田 誠	農業	農業者による推薦
2	男澤 薫	会社員兼農	//
3	長澤 君雄	農業	//
4	横山 強一	農業	//
5	赤坂 昭一	農業	//
6	渡邊 民夫	農業	//
7	石川 祐一	農業	//
8	中川 文義	農業	//
9	小畑 紀夫	農業	//
10	泉 喜代志	農業	//
11	渡邊 順一	農業	法人・団体による推薦

(届出順)

万葉の里さんぽみち



おうち時間に「万葉ジョイント体操」を！

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、おうち時間が増えたことによる運動不足の解消に役立ててもらうため、「万葉ジョイント体操」の動画を動画共有サイト「YouTube」にアップしました。

「万葉ジョイント体操」は、村健康運動サポーターが考案したもので、肩回りの関節や股関節など、関節をよく動かす体操です。

また、ジョイントという言葉には関節という意味の他、つなぐという意味もあることから、人と人をつなぎ、健康の輪を広げていくという願いも込められています。

「万葉ジョイント体操」で検索し、ぜひ、ご活用ください。



▲皆さんの健康を願い、一生懸命撮影しました



▲(左から) 県仙台地方振興事務所山口所長、(中) イズミテクノ林代表取締役社長、萩原村長

株式会社イズミテクノ立地協定式

5月14日(木)、第二仙台北部中核工業団地への進出を決定した、株式会社イズミテクノとの立地協定式が行われ、株式会社イズミテクノの林高孝代表取締役社長と萩原村長が、県仙台地方振興事務所山口浩徳所長の立ち会いの下、協定書への署名を行いました。

株式会社イズミテクノは長野県岡谷市に本社を置き、金属処理加工をしている企業で、長野県外への進出は初めてとのことです。宮城工場は令和3年4月の操業を予定しており、地元から多くの雇用を計画しています。

6月23日から29日は「男女共同参画週間」です

『そっか。いい人生は、いい時間の使い方なんだ。』

『ワクワク・ライフ・バランス』

(令和2年度男女共同参画週間キャッチフレーズ)



「男女共同参画社会基本法」が制定された平成11年6月23日に合わせて、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」としています。

「男女共同参画社会」の推進とは、一人ひとりが自分の未来のことは自分で考え、決めていくことで、夢や理想を実現し、自分らしく、豊かに人生を歩んでいこうとする取り組みです。

性別にとらわれず、お互いが対等の関係で社会や家庭のことに参加・協力していく機会が平等に与えられ、その中で自分に必要なものを選択し、行動していくことが求められています。

男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、政府や地方公共団体だけでなく、国民のみならず一人ひとりの取り組みが必要です。私たちのまわりの男女のパートナーシップについて、この機会に考えてみませんか。